

2012年5月16日(水)

BL-4B2 モノクロ・ミラ-制御講習会

参加者: 井田隆(名工大), 日比野寿(名工大)

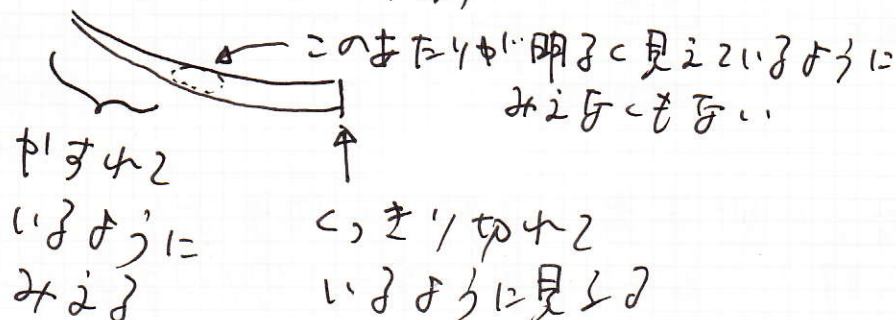
兼子直人(東大), 西村真一(東大), 三宅亮(京大)

大井修吾(京大), 中尾裕則(PF)

○ BL4B1 ハック直下の帯先板によるビーム断面像の変形に関する2つの件.

リング側へ

→ロウカ側へ



* 4B2 ハックからモノクロまでビームを

さしてその可能性は上のプレートにだけ確認済み

(by 中尾氏)

* モノクロ直下の帯先板に映るビームの像は

きょいな横長の長方形に見える(→ミラ-が怪しい)

* モノクロ直上の四象限スリットを廊下側から

切り込んだら、ビーム像が切欠はじけ

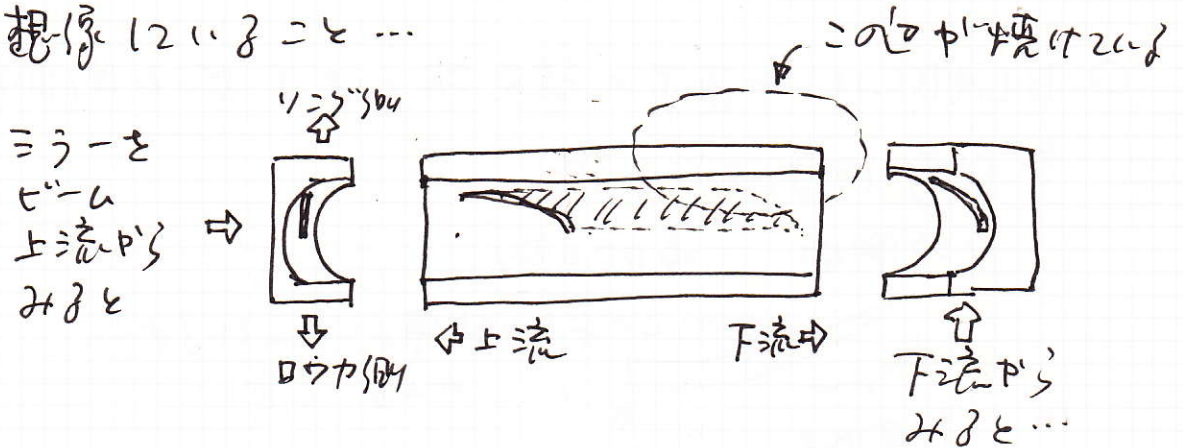
まどにマージンがある。(→四象限スリットの

影が怪しい)

※ ミウ-の復端. リング側から焼けたように
見えます (by 中尾氏)

※ ミウ-の水平移動をビーム形状のままに
なすよう調整するのは現状では不可能
(可能範囲を超えてしまう)

想像していること...



- ビーム側本来の位置より
(入射) 40度程度リング側におくべき?
- ミウ-側本来の位置より40度程度
ロウカ側におくべき?
- モリブデン結晶側本来の位置より40度程度
リング側におくべきか本来の位置のままに
おくとよい?

ミウ-架台の位置をリング側におくことは
問題が解消される可能性はありか?

○ ツジコン PM16C-02N, ホジニヨモ 275PMON-02
 11°IL2モ-タコナロ-う
 設定変更, 調整

・ ミウ- 前端垂直位置セ-サ ϕ " スウ-2" に付着" (MFV) (垂直 ± 5000 11°IL2/mm)
 Mirror Front Vertical

カクカク動くような感じ。

固定部と可動部の平行 ϕ と ψ 2ない。
 (センサ)

⊗ 可動部の取り付けネジ ϕ は完全にエリエリ
 になっ2いた \Rightarrow しぬたあす。

可動部とリコケア-ガ-ルを ψ 24 ψ し
 まっ2いにした

概ねスウ-2"に動くようになっ2た ϕ 。また ψ し怪しい。

ミウ- 垂直位置は、とりあえず 現状のゼロ11°IL2
 位置を基準とあす

スネ-ジにア-カ-を付けて同2考え2いる。

リミ-タ-部に付けるの ϕ は ψ しやす ϕ 。

リミ-タ-用ドグ-支持部のツウ ϕ 3mm

2 ψ は ψ 2 ψ の2 ψ 。3mm x 7.5mm x 7.5mm

のスネ-サを付けて。ツウを合せ2ア-カ-を
 付けるの ϕ を望まし ϕ 。

・ ミウ- 前端水平位置 (2000 11°IL2/mm)

ツジコンのリミ-ト-ラ-ンク ϕ は常時点灯2は ψ く
 点滅 \Rightarrow SETUP 修正2解除

~~中~~

下↑↑↑, z=位置を基準とする(再現性は
ソニックホーン) より期待が大きい...

ホ 11°の角度 × 傾斜 ≡ ホジニコンモの角度と
今

よりより ホジニコンモの OFFSET と GAIN を
調整した。

の現在のモイクロ・ミウ-制御プログラム内の問題点

2軸のミイクロ駆動はミイクロスキャン
(平行移動, 回転) が必要なものだ。

ビーム断面像の変化が大きいことに。

→ プログラムを書き直すと。

遠隔操作で発光板の出し入れをしたい。

シャッター-開閉も...

今二千円11000 前の発光板より

ソリスドパ X ステージ

モーター直がけで動かす...

→ 明子とを遠隔操作で変えたい照明も
よるとよい。

発光板をみるため(2)

結論: とりよるが現状のチチ我慢に使う...

○ 平板回転試料台 半割治具寸法寸法

